

キャラクター名 プレイヤー名  
紅葉 紅洋（ゆずりは こうよう）

シンドローム	ノイマン		ワークス	刑事	カヴァー	シナリオの舞台の刑事
	ノイマン					
	オプショナル					
		年齢	48	性別	男	
覚醒	死	衝動	恐怖	初期侵食率	39	%
出自	天涯孤独	経験	被害者	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	8
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1	23	R C			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
『六発で片を付ける』		0		8		オート：『ウェポンケース』パワーピストル（リボルバー）を装備。
『刑事のカンも銃弾も外したことがなくてな。』		0				オート『カリキュレーション』を使用 ダイス効果減少無効化。
『44口径の相棒』	射撃	1r+34		8		『スキルフォーカス』Lv5 『感覚：射撃』指定 命中固定Lv2
『早打ち対決と行こうぜ。』	射撃	1r+34				単体攻撃の効果を全員に変更し『カンシュー』を使用します。『互いのメッシュアブソーブ』の命中判定の真ん中1の攻撃値を行います。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

[illegible]

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエクストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ブラックマーケット	1		常時					
効果： 常備化+Lv×10								
武芸の達人	8	初期に4	常時	至近	自身	白兵or射撃		
効果： Lv×3の固定値。								
カリキュレーション	3	3	オート	武器	自身	自動		
効果： 受けているダイス減少効果を打ち消す。判定時使用 シナリオLv回								
スキルフォーカス	5	2	メジャー	武器	自身	自動		
効果： 好きな技能に+Lv×2の固定値。								
カウンター	1	4	リアクション	武器	自動	対決	80↑	
効果： 『メジャーアクション』と組み合わせ可能。射撃または白兵で対決し勝った方のメジャーアクションが採用される。行動済になる								
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果： 戦闘不能時メインプロセスを行う。								
ディフレクション	5	4d10	オート	視界	単体	自動	120↑	
効果： HPダメージをLv×10軽減し軽減したダメージを反射する。								
写真記憶	★							
効果： 眼にしたものを細部まで覚えておく事が出来るエフェクト 知覚で判定可能								
構造看破	★							
効果： 建物などを入らずとも把握できる。 知識で判定可能								
神速思考	★							
効果： 光速で考えを纏めたり計算を終了させたりできる。								
効果：								
効果：								
効果：								

『紅葉 紅洋 任務に当たります。』  
彼は25歳の時に長年の夢であった警察官になる事が出来た。  
武器の支給日。自分の体に合った物を選びなさいと教官に言われ手に取ったのはレトロタイプの『6発装填式：44口径マグナム銃』だった。  
誰もがオートマチックのハンドガンを手にとっていく中。俺は悩むことはなかった。

理由はもちろんある。警察官を夢見た頃の話までさかのぼる。  
幼い俺は誘拐事件に巻き込まれた。白バイで追ってくれた警察の若い兄ちゃんが使ってたのがこのマグナム銃だ。  
笑えるだろう？まるでハリウッド映画だ。銃を横で持ち片手運転でタイヤめがけて発砲。奇跡的に命中。もちろんタイヤはパンクどころか破裂だ。  
白バイの兄ちゃんも反動で肩をやり白バイごと横転。俺の乗ってた車も木にぶつかり停止だ。傷だらけの中俺を助け出してくれた兄ちゃんにあこがれて俺は警察官を目指した。  
まあ入隊した時にはその兄ちゃんは居なかったんだがな。どこに行っちゃったのやら。  
最後に聞いたセリフは『自分の浪漫を追い求めろ』だった。

『血のにじむような...。』  
二つ返事で手にしたマグナム銃は訓練がおそましくつらかった。  
反動を制御できるわけも無い。最初の1発を撃ったら銃口が反動で天を仰いでら。  
リロードもレトロタイプなマグナムなもんで1発1発手込めだ。  
『スピードローダー』っていうのもあるらしいが俺は断然手込め派だ。  
何でかって？そりゃあお前、『見た目がカッコいいから』しかないだろう？

『未知の能力』  
俺はある立てこもり事件に対応することになった。ありゃあ30の時くらいだったか。